

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1.基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	
大学名	博多大学（仮称）	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	福岡県
大学全体の総収容定員数	※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	大学の新設であるため該当なし		

2.事業概要

博多大学は、社会と連携した学びと研究を通じて学生の実践的な課題解決力を涵養します。産業界や地域社会との密な連携教育を通じて、学生が実務的なスキルや知識を習得する機会を提供し、自らの意志で地域や世界の課題に取り組んで解決する力を育むことを建学の精神として2025年4月に開学します。入学定員160名、収容定員640名のデータサイエンス学部データサイエンス学科の単科大学としてスタートします。博多大学は、九州の中心都市である福岡市の街中、博多に設置する大学です。福岡市は、政令指定都市の中で、横浜市、大阪市、名古屋市、札幌市に次ぐ5番目の人口（約162万人）を擁し、人口増加率・開業率ともにトップを誇る地方都市です。日本では大学受験生の多くが都会志向があり、九州から関東・関西圏に進学する学生は少なくありません。九州で都会の学生生活を実現できる博多の街は、都会志向を持つ九州出身の大学進学者に関東・関西圏以外の選択肢を提供し、地元での進学と就職を実現できる九州唯一の街です。すでに始まっているデータ駆動型社会を支えるデータプロフェッショナル（データエンジニア、データアナリスト、データサイエンティスト）を九州で養成し、九州地域の地方創生を支えるために都会型学生生活を実現可能な博多大学を設置します。

3.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和7年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
認可申請・届出予定	令和5年度					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	博多大学 データサイエンス学部 データサイエンス学科（仮称）					
設置等組織の学位分野	理学関係					
当該学部等の所在地	福岡県福岡市博多区（市区町村まで記入）					
入学定員	160名					
収容定員	640名					
入学定員の増加数						
他学部等の入学定員の減少数						

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。

< 基本情報 >

改組予定年度：2025年度
改組内容：学部の新設
設置等組織名：データサイエンス学部データサイエンス学科
入学定員：【R7新設】160名
所在地：福岡県福岡市博多区

始動するデータ駆動型社会で活躍するデータプロフェッショナルを養成

データプロフェッショナル（データエンジニア、データアナリスト、データサイエンティスト）
を九州で養成し、九州の地方創生を支える

九州中心都市の刺激を受けながら先端教育環境で時代を牽引するデータプロフェッショナルを目指す学生を歓迎します

博多大学は、社会と連携した学びと研究を通じて学生の実践的な課題解決力を涵養します。産業界や地域社会との密な連携教育を通じて、学生が実務的なスキルや知識を習得する機会を提供し、自らの意志で地域や世界の課題に取り組んで解決する力を育みます。



企業経営におけるデータ駆動型意思決定を支援する経営・データアナリストの養成

経営・データアナリティクス専攻



ヘルスケア産業におけるデータドリブン改革を担うヘルスケア・データアナリストの養成

ヘルスケア・データアナリティクス専攻

文系・理系の別なく広く募集する入学選抜

地域のICT推進企業(実務家教員)、協力大学の教員団を編成



現実社会のニーズを反映した専門技術者教育を進める教育課程

現に社会で活躍するデータ系技術者を実務家教員としてクロスアポイント制度で採用した教員組織

数理統計、データエコシステム、系統的な学習を基礎に

- ・経営・データアナリティクス科目群
 - ・ヘルスケア・データアナリティクス科目群
 - ・AIデータサイエンス科目群
 - ・セキュリティ・データエンジニアリング科目群
- を、学外機関との共同PBL実践演習で学ぶカリキュラム編成。



AI・機械学習による分析モデル構築で課題を解決する予測モデル・データサイエンティストの養成

AI・データサイエンス専攻



情報セキュリティを担うホワイトハッカーたるセキュリティ・データエンジニアの養成

セキュリティ・データエンジニアリング専攻